



6年理科 「月と太陽」 学習の手引き

以下の順番で、学習を進めましょう。教科書にQRコードのあるところは、スマートフォンやパソコンで動画が見られます。動画が見られない場合には、教科書を見ればOKです。教材：理科の教科書＝**教** 理科学習ノート＝**ノ**



1 回目

- ① まず、**教**P.112～114を声に出して読みましょう。
- ② 次に、**教**P.112～114を読み直しながら、**ノ**P.36に取り組みましょう。

ノに取り組むヒント

活動 … **教**P.114を読んで、書きましょう。

※右側の四角い枠は、今週の夕方に行う観察記録用です。今は空けておきます。
観察について、くわしくは、「月と太陽の観察について」を見てください。

問題 … **教**P.114を読んで、書きましょう。

- ③ 次に、下の文を読んで、観察方法を再確認しましょう。



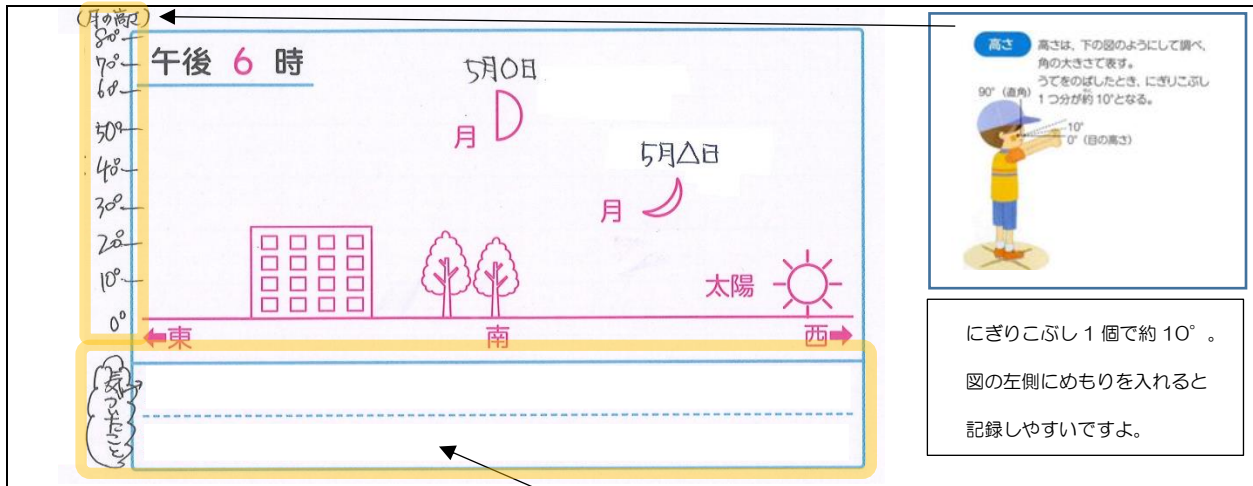
「月と太陽の観察について」

1. おうちの人と、観察する日を2日間決めます。
 夕方～夜の観察です。必ず、おうちの人といっしょに観察しましょう。
 天気予報を見て、雲が少ない日にすると良いです。
 週の前半と後半、のように観察日を2,3日空けると、月の形や位置の違いがよく分かります。
2. 観察する時間を決めます。時間は、2日間とも同じ時間で観察します。
 時間は、太陽と月が両方出ている時間が良いです。(5月25日～31日なら、18時前後が良いでしょう。)
3. 観察する場所を決めます。同じ場所で観察します。(近くに見える建物もかいておくと、目印になります。)
4. **【1日目】**
 - 1 方位磁針(スマートフォンに入っている場合もあります)で方位を調べ、月と太陽の位置を観察、記録。
 - 2 月の形を記録して、月の下には観察した日を書きます。
 - 3 近くに見える建物も、簡単に記録しておきます。
- 【2日目】**
 - 1 と 2 を進めます。

2回目・3回目

①決めた日時に、月と太陽を観察・記録します。(くわしくは、前のページ)

※4年生の復習：にぎりこぶしを使って、月や太陽の高さを測ることができます。記録に生かすとよいです。



②2日間の計測が終わったら、家で、気づいたことを記録します。

4回目

① まず、**教**P.115~117を声に出して読みましょう。

② 次に、**教**P.115~117を読み直しながら、**○**P.36,37に取り組みましょう。

○に取り組むヒント

【QRコードが読みこめないときはここにアクセス】

<https://is.gd/mWZUPM>



計画 …**教**P.115を読んで、書きましょう。

結果 …実験することが難しいです。(もし可能なら、右上のQRコードの映像を見ると理解の助けになります。) その後、**教**P.116を見ながら

○P.37を書きます。下の2行には、分かったことを書きます。

まとめ …**教**P.117を読んで、書きましょう。

③ **○**P.36,37の丸つけをしましょう。

◎今週の“プラス1”…余力がある人は取り組んでみよう！

教の最後に付いている、「月の満ち欠けモデル」で遊んでみよう。